

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(43)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(43)—

#### 1. 始めに

前報(42)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回もピアノ協奏曲です。

ドイツグラモフォン MGW 5263

モーツアルト ピアノ協奏曲 13 番ハ長調

ピアノソナタへ長調

キラキラ星の主題による変奏曲ハ長調

クララ・ハスキル (ピアノ)

ルドルフ・バウムガルトナー指揮ルツェルン祝祭合奏団

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

ドイツグラモフォン盤ということで、TELDEC]、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

ハスキルの協奏曲の演奏は力強くオーソドックスな演奏です。バックのバウムガルトナー指揮ルツェルン祝祭合奏団も緻密で構成のしっかりした演奏で、ハスキルのピアノを支えています。

ハスキルのピアノソナタへ長調とキラキラ星の主題による変奏曲は、力強い中にも華やかさもまじる演奏です。

### 3. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレイク、Crystal E の導入の交換などの総合的な効果として、ハスキルのピアノとバウムガルトナー指揮ルツェルン祝祭合奏団の演奏の表情が的確に捉えられました。

以上